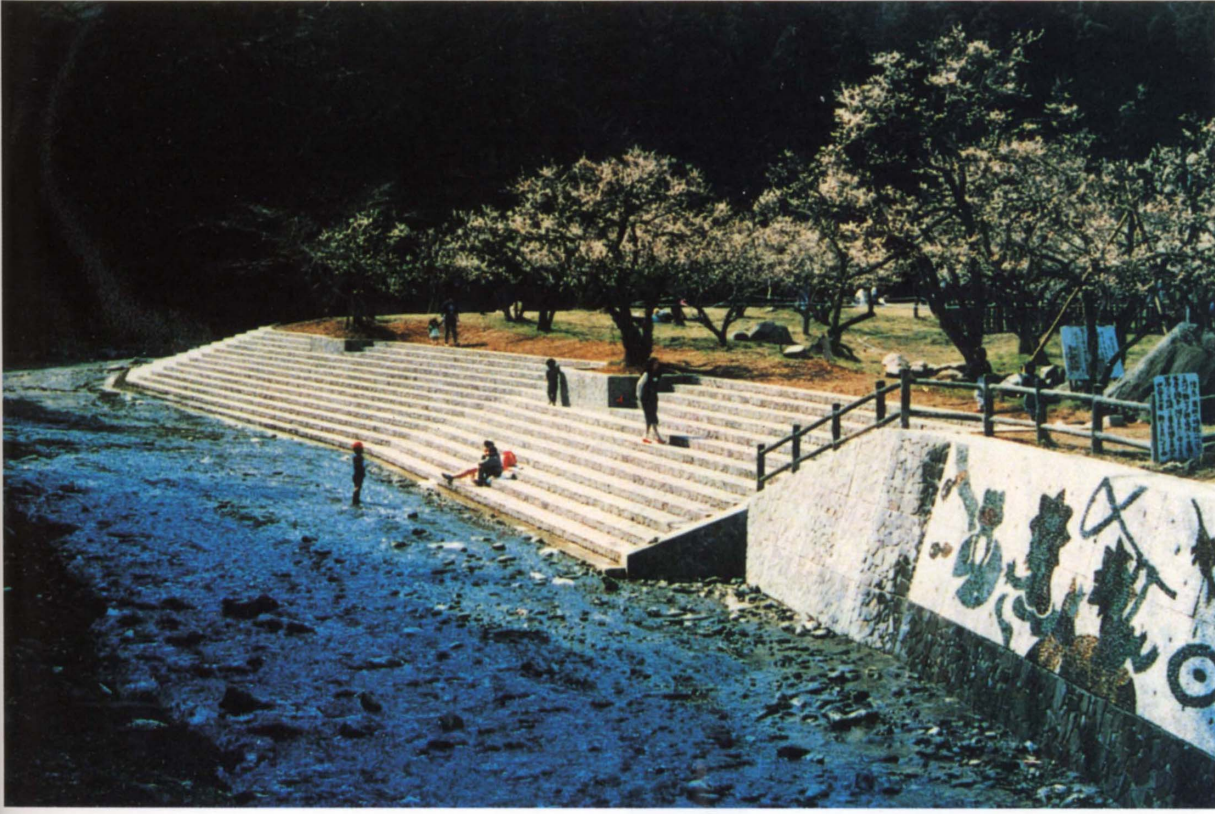


鮎川ロマンチックライン

茨城県日立市



鮎川は、工業都市として発展してきた日立市の中心部を流れている。この川の中流には水戸藩主徳川斉昭が造成した諏訪梅林があり、観梅やその他レクリエーションに多くの市民が訪れている。

鮎川の護岸は階段状の鉄平石張りステップブロックを用いて、自然景観とマッチした親水環境護岸の整備が行われ、水に親しむ憩いの場として市民に親しまれている。

現在では市民団体の活動により、鮎川の水もきれいになり、梅林の保護育成に合わせて、鮎の放流や河川の清掃作業も行われている。

データボード³¹

- ① 茨城県日立町諏訪町字山田
- ② 延長150m
- ③ 環境護岸(親水護岸)
- ④ 石張り(鉄平石)ステップブロック
- ⑤ 市民ウォークラリー